

除排雪作業中の事故につながる危険なシーン

除雪のこんなときが危険！



キケン1 はしごから落ちる

- ・はしごの足元をしっかりと固定する
- ・すれないように補助者に支えてもらう
- ・はしごの上部が安定していることを確認する

キケン2 屋根から落ちる

- ・晴れて暖くなると屋根の表面の雪が解けて滑りやすくなる
- ・スノーダンプでの作業中に重みで引きずられることも。そんな時は無理せず、すぐに手を離す
- ・低い屋根でも要注意

キケン3 流雪溝や川へ転落

- ・流雪溝の雪詰まりをスコップで解消した際に、急に水流が戻るとスコップなどと一緒に流されるので要注意

キケン4 作業中に急な発作

- ・持病のある場合は無理は禁物
- ・経験や体力を過信しない
- ・こまめな休憩をとる

キケン5 屋根からの落雪

- ・軒先には不用意に近づかない
- ・軒先の雪庇やつらら落としの際は要注意

キケン6 交通事故

- ・前方だけでなく、後方の車や除雪車などに注意

キケン7 除雪機の操作ミス

- ・除雪機の雪詰まりは必ずエンジンを切ってから
- ・雪を飛ばす際は周囲を確認する

キケン8 滑って転ぶ

- ・滑りにくい長靴などを選ぶ

屋根雪下ろし作業手順書

屋根雪下ろし中の事故は、重大事故になりやすいので、作業手順書を参考に、安全に作業しましょう！

1 準備運動はしっかりと

- ・除雪作業前には準備体操をする

2 服装は万全に

- ・除雪作業で汗をかくので、作業中に体温調節できるように、重ね着がオススメ

3 体調管理

- ・体調管理に気を配り、疲れているときや風邪をひいているときは激しい作業はしない

4 気象情報など

- ・風が強く視界が悪い時や早朝、夕方など薄暗い時間帯は避ける
- ・晴れて、気温が高いときは、屋根の雪が緩み滑りやすくなるので注意

5 2人以上での作業

- ・もしものために、2人以上での作業を。やむを得ず、1人で行う場合は、家族や隣近所に声掛けする

6 周りの状況を十分把握

- ・雪を下ろす場所に窓ガラスや灯油タンク、室外機などがいないか確認し、必要に応じて板をあてるなどの対策を
- ・雪を下ろす際には、通行人や通行車両に注意
- ・雪下ろしのときは、家屋のまわりに雪を残しておく（落下したときの被害軽減）
- ・雪下ろし後は、住宅まわりの除雪を行う

7 使いやすい除雪道具など

- ・スコップやスノーダンプなど使いやすい道具で作業
- ・緊急事態に備え、携帯電話や笛（ホイッスル）などを携行

8 体全体を使う

- ・腕の力だけに頼らず、足や腰を使う。腰を曲げずにひざを曲げ、体全体で雪を持ち上げる。体をひねるように雪を捨てるのは、腰や手首を痛める原因になる

9 無理をしない

- ・除排雪は重労働。作業中、身体に異変を感じたら、作業を中断。こまめな水分補給と休憩を

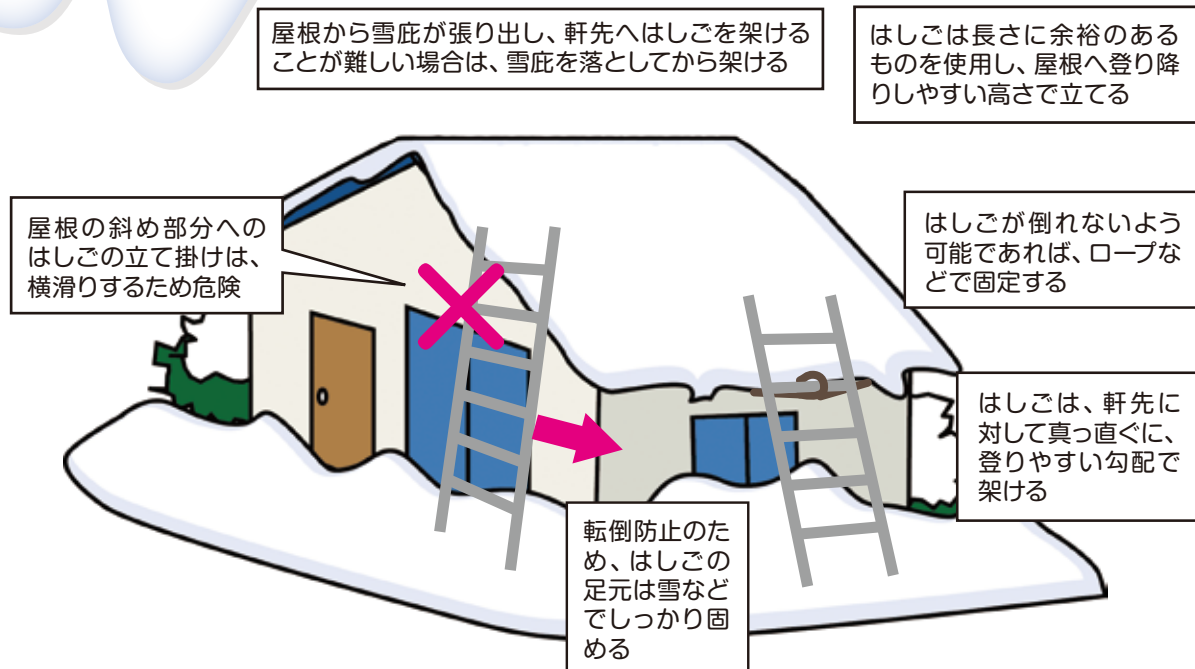
10 油断禁物

- ・作業の始めと終わりは要注意
- ・自分の年齢や体力に対する過信はないか。除排雪に対する慣れや過信、油断が事故を招く

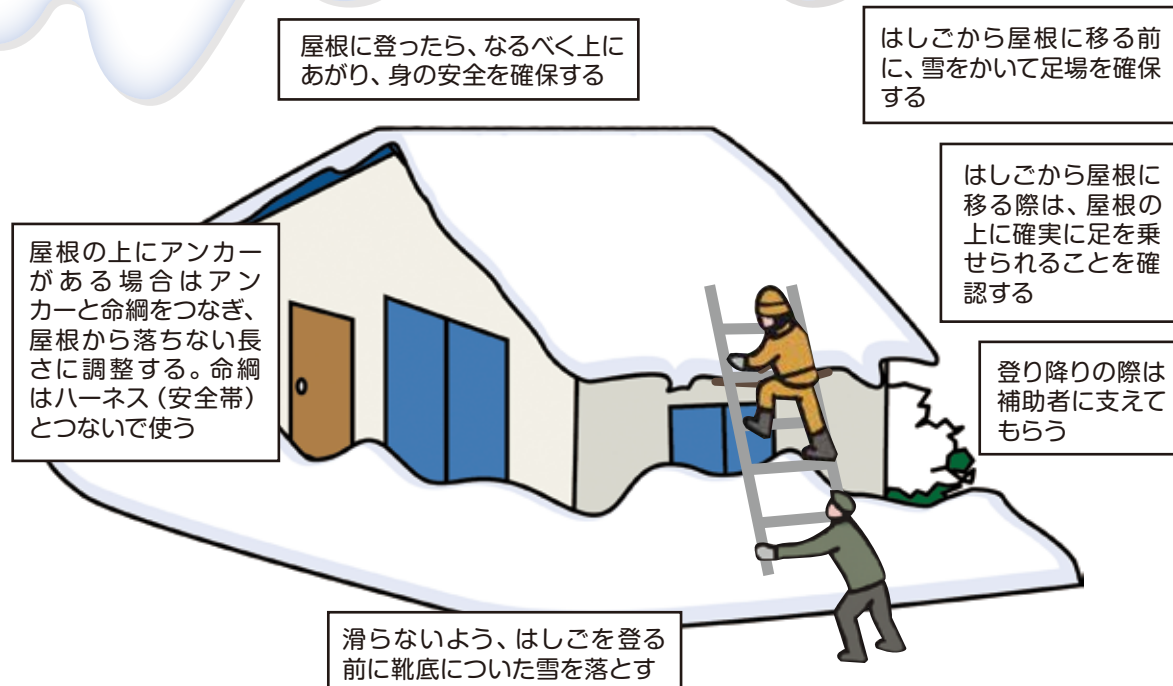


作業の進め方

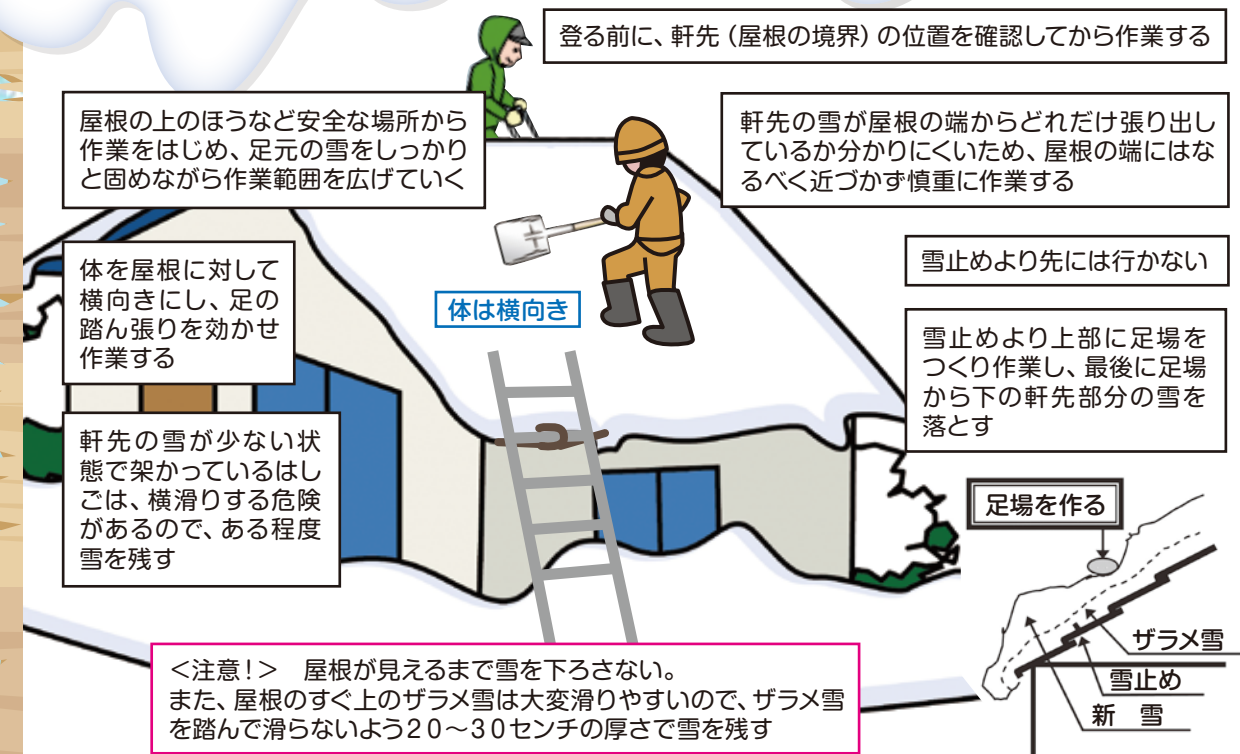
① はしごの固定



② 屋根に登る



③ 屋根雪を下ろす



④ 屋根から降りる



⑤ あとしまつ

- ・道路へ落とした雪は、人や車両の通行の妨げとなるので片づける
- ・屋根から道路へ、自然に落ちた雪も、通行の妨げとなるので片づける
- ・隣近所とのトラブルとならないよう、こまめに雪を片づける
- ・除雪道具を清掃し、次の除雪に備える
- ・体をゆっくり休め、風邪をひかないようにする

